



一昭和医科大学歯科病院の理念一

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 松田 幸子
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

アライナー矯正治療について

昭和医科大学歯科病院 病院長 榎 宏太郎

近年、日本でも透明なマウスピース型の矯正装置（アライナー）による治療が急激に普及しております。

本法は、ワイヤーを用いた従来法に比べて審美性に優れ、着脱が可能なためにブラッシングも容易で衛生的にも優れていることが数多くの研究結果から示されております。

この装置の製造過程は、①まず、歯列の光学印象データと骨格のCTデータを統合し、②その3D画像を用いて矯正治療による歯の動きをシミュレーションします。③歯科医師がそのシミュレーションを修正・承認したのちに、④移動経路を250ミクロンごとに分割し、造形用データに変換してアライナーが作製されます。

歯の動きや治療後の状態を3D表示するために、移動範囲や方向を決めやすく、患者さんにも理解しやすいという利点があります。当院ではすでに2003年から導入しておりますが、今後はさらに、矯正治療のみではなく、インプラントや補綴治療などと連携する可能性が広がっております。

しかし、その一方では、途中で噛めなくなったという訴えや、いつまでも治らないというご紹介も年々増加しております。これは、シミュレーションが生体反応の全てを予測しているわけではないことや、移動方法や歯の形によってはその予測実現性に差異があることが大きな原因です。



したがって、我々は常に症例ごとの解決すべき課題と装置の適応性を正確に診断した上で、不測の事態への対処法も知らなければなりません。

アライナーは『何でも治る魔法の装置でもなければ、何もできない無用の装置でもありません。』素晴らしい未来を有する、しかし、発展途上の装置なのです。

これからアライナー矯正をお考えの方や、現在の治療におけるセカンドオピニオンをご希望される方は、ご遠慮なくお申しつけください。



- P1 アライナー矯正治療について
- P2 診療科紹介：スポーツ歯科外来
- P3 インプラント治療に関する説明会 開催のお知らせ
- P4 昭和医科大学歯科病院公開講座 開催のお知らせ、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

診療科紹介：スポーツ歯科外来

スポーツ歯科外来 助教(歯科) 篠崎 皓介

当科では、スポーツの試合や練習中に、口の中に装着するマウスピースであるスポーツマウスガードの作製・調整を行っています。

このスポーツマウスガードは、ラグビー、ボクシング、アメリカンフットボール、空手など、相手との接触が多い競技で主に使用されています。近年では、バスケットボール、サッカー、転倒やクラッシュによる衝撃が想定されるモータースポーツなどの競技でも、ケガの予防を目的として使用する選手が増えています。

スポーツ中は転倒や衝突によって、歯が折れたり抜けたりする事故が起こることがありますが、マウスガードを装着することで衝撃を吸収し、歯や歯ぐき、唇、舌などの損傷を軽減する効果が期待できます。また、あごへの強い衝撃を和らげることで、顎関節への負担や脳への衝撃を減らす可能性もあると考えられており、一部の研究では脳震盪の発生リスクが低減する可能性も報告されています。

スポーツマウスガードには、市販されている既製品や、お湯で温めて自分の歯型に合わせるタイプがありますが、当科では患者さん

一人ひとりの歯並びやかみ合わせに合わせて作製する「カスタムメイドタイプ」を提供しています。既製品は手軽で安価ですが、装着感やフィット感が十分でない場合があるのに対し、当科で作製するマウスガードは、自分の歯列にぴったり合うため、外れにくく、話しやすく、呼吸もしやすいという利点があります。上の歯列全体を覆う形態で作製しますが、コンタクトスポーツでは保護性を重視し、会話や呼吸が求められる競技では機能性に配慮するなど、競技種目やそのレベル、年齢などを考慮して厚みや形態、素材を調整することで、高い保護性能と快適な装着感を実現しています。

スポーツによる歯や口のケガは、一度起こると治療に時間や費用がかかる場合が多く、日常生活にも影響を及ぼします。スポーツマウスガードは保険外診療になりますが、適切なメンテナンスを行えば長期の使用も可能です。スポーツをより安全に安心して楽しむために、新規作製をご希望の方は、お気軽にスポーツ歯科外来までご相談ください。



さまざまな色で作製できますが、競技によって指定されています。



カスタムメイドタイプマウスガード



患者さん対象 インプラント治療に関する説明会 開催について

インプラント治療について、分かりやすくご説明いたします。

日 時： **9月30日(水)11:30~12:30**
11月25日(水)13:30~14:30
令和9年1月27日(水)11:30~12:30
3月24日(水)13:30~14:30

会 場：昭和医科大学歯科病院
2号棟1階第1会議室

講 師：インプラント歯科 診療科長 宗像 源博

参加費：無料

その他：手術時間延長や変更により開始時間が変更となる場合がございます。

～お願い～

37.5℃以上体温がある場合や体調不良の方は、
当日の参加をご遠慮ください。
マスク着用へのご協力をお願いします。



インプラント 歯科 宗像源博



お問い合わせ

昭和医科大学歯科病院事務課管理係

住所：東京都大田区北千束2-1-1 TEL：03-3787-1151 (代)

昭和医科大学歯科病院公開講座 開催のお知らせ

患者サービス向上委員会

第29回 昭和医科大学歯科病院公開講座

「暮らしと健康」 ～お口の健康～

本年も公開講座を開催いたします。

皆様のお口の健康維持にぜひお役立てください。

日時：2026年10月10日（土）13:00～15:00（受付 12:30～）

場所：昭和医科大学歯科病院 1号棟 6階 第2臨床講堂

東京都大田区北千束2丁目1番1号

★参加費無料、事前申し込み不要

第1部 歯を失う前に、失ってから

一入れ歯と歯ぎしりから考える健康長寿一

馬場 一美（補綴歯科 教授・診療科長）

第2部 何故食事がムセるのか

一自宅で出来る対応について一

伊原 良明（口腔機能リハビリテーション科 教授・診療科長）

第3部 気づいていますか？ お口からのサイン！

一お口の機能の変化を早期に見つけるために一

坂本 奈津季（歯科衛生士）

★講演終了後に相談コーナーを設置します★（講演後1時間程度）

歯科医師・歯科衛生士が皆様からの相談にのります

【注意事項】

※マスク着用をお願いいたします。また、会場内での食事はご遠慮願います。

※当日は病院だより・当院ホームページなどへの掲載・公開のため、写真撮影・ビデオ撮影を行います。掲載・公開を希望されない方は、イベント当日に直接スタッフにご相談ください。

ただし、病院だよりなどへの掲載後の場合は対応できかねますのでご了承ください。

昭和医科大学歯科病院 お問い合わせ先電話：03-3787-1151（事務課 公開講座担当）

主催：昭和医科大学・昭和医科大学歯科病院、後援：大田区

編集後記

日々の空気が少しずつ澄み、季節の変わり目を感じる頃となりました。忙しさの中でも、ふとした時間にお口のケアを丁寧に行うことが、健康を守る大切な習慣になります。皆さまの毎日にそっと寄り添う情報をお届けできれば幸いです。

これからも健やかな日々を過ごす一助となれば嬉しく思います。（K.J）



第29回昭和医科大学歯科病院公開講座

「暮らしと健康」～お口の健康～

第1部：補綴歯科 馬場 一美教授

歯を失う前に、失ってから

一入れ歯と歯ぎしりから考える健康長寿一

第2部：口腔機能リハビリテーション科 伊原 良明教授

何故食事がムセるのか

一自宅で出来る対応について一

第3部：歯科衛生室 坂本 奈津季技術主事

気づいていますか？ お口からのサイン！

一お口の機能の変化を早期に見つけるために一

相談コーナー

講演終了後1時間、
歯科医師・歯科衛生士が皆様からの相談にのります

2026. 10.10 土

13:00～

(12:30受付開始)

※当日は病院だより・当院ホームページなどへの掲載・公開のため、写真撮影・ビデオ撮影を行います。掲載・公開を希望されない方は、イベント当日に直接スタッフにご相談ください。ただし、病院だよりなどへの掲載後の場合は対応できかねますのでご了承ください。

昭和医科大学歯科病院 6F 第2臨床講堂

〒145-8515 大田区北千束2-1-1

東急目黒線 浅草橋より徒歩3分

東急大井町線 北千束駅より徒歩5分

03-3787-1151 代表

事務課 公開講座担当

主催：昭和医科大学・昭和医科大学歯科病院

後援：大田区